

令和4年度事業実施報告について

1. 事業の総括

燕市周辺地域は、金属洋食器、金属ハウスウェアの生産をはじめ、金属複合加工基地として中小規模事業場の密集地域であり、労働安全衛生法に規制する危険有害業務を多く抱えており労働者の生命と健康保持に特段の配慮が必要とされており、当協会ではプレス災害ゼロを最重点目標とし、プレス検査時における安全衛生指導や訪問による安全指導等の事業を展開している。

については、当地区（燕・西蒲地区）のプレス災害の発生状況を見ると、令和4年12月末は15件で前年と比較し4件プレス災害が増加した。そして、三条監督署管内での地区別プレス災害発生割合でも当地区の災害発生割合が60.0%と高い状況となっている。

プレス災害発生原因を分類する9項目の中で、「安全装置の不備（調整不良）、作業方法の欠陥、安全装置を無効にする」の3項目で災害が多発している。

このことから、従業員の安全を確保するため、事業場においては、上記3項目を再度点検し、不備な点があれば改善をするなど、プレス災害防止対策を徹底する必要がある。

過去6年間のプレス災害発生状況は次のとおりです。 (件)

年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
三条署管内	11	14	27	18	15	25
燕西蒲管内	7	8	17	12	11	15

2. 会員数の動向 (3月末)

内 容	R2年度	R3年度	R4年度
会員数(賛助会員12事業所含む)	220	220	216

3. 事業実施の概要

① 動力プレス特定自主検査事業 (3月末)

内 容	R2年度	R3年度	R4年度
動力プレス特定自主検査件数(台数)	1,299	1,339	1389

② プレス安全措置事業

プレス安全措置事業については、プレス機種及び作業に適合した安全囲い安全装置の選択指導を行うとともに、求めに応じて安全装置及び周辺部品の廉価斡旋、責任取付け修理等を行っております。

③ 局所排気装置等の代行検査事業 (3月末)

内 容	R2年度	R3年度	R4年度
局所排気装置等の代行検査件数(系列)	341	364	355

④ 教育研修指導事業 (3月末)

内 容	R2年度	R3年度	R4年度
プレス機械作業主任者 技 能 講 習	60	101	105
プレス金型取付け取外し 調整業務特別教育	105	104	110
クレーン(5トン未満) 運転業務特別教育	48	46	45
新入者等安全衛生教育	-	31	38
局所排気装置等自主 検査者養成講習	48	70	71
合 計 (名)	261	352	369

⑤ 家内労働対策推進事業(燕市の助成対象)

イ. 動力プレス機械の検査

(3月末)

内 容	R2年度	R3年度	R4年度
動力プレス機械の検査台数	185	185	160

ロ. 家内労働巡回指導事業 (年間実施数) 260 事業所

⑥ 実施した主な事業

行 事 名	実 施 日	実 績
第117回理事会及び令和4年度通常総会	令和4年5月19日	173名(委任状含む)
令和3年度無災害達成証の交付	令和4年5月19日	69社
第46回プレス安全大会 ・労働災害防止について 三条労働基準監督署釣井署長講話 ・通水百年大河津分水路の未来予想図 信濃川大河津資料館樋口コーディネーター講話 ・決意表明 参加者代表	令和4年7月1日	32名
第118回理事会	令和4年12月15日	15名
救急講習会 燕消防署救急隊員実技指導	令和5年2月24日	24名

⑦ 広報活動

イ. 広報誌「燕西蒲労災防だより」を毎月発行し、労働関係、労働安全衛生関係等について情報の提供を行いました。

ロ. 緊急要請等の通達文書を広報誌とともに会員に配布し周知徹底を図りました。

⑧ 労働相談等

労働安全衛生法、労働保険、さらに産業医配置業務等、広範囲にわたる各種の相談に応じるとともに手続きについて支援を行いました。

⑨ 産業安全衛生会館の有効利用

産業安全衛生会館の有効利用については、当協会自主事業の活発な利用と関係各方面に利用促進を求め、下表実績を上げることができました。その利用状況は次のとおりです。

使用区別	内 容
自主事業	1. 各種安全衛生教育、講習 2. 各種講習会、指導会 3. 各種会議
他団体利用	1. 燕市公害防止事業協同組合の諸会議 2. 新潟県プレス特定自主検査業者連絡協議会の諸会議 3. 新潟県労働衛生医学協会の諸研修、検診等 4. その他

⑩ その他の事業

安全衛生用品図書斡旋事業
労働保険事務組合事業

4. その他の事項

- ① 新潟県プレス特定自主検査業者連絡協議会事務局の業務
- ② 燕市公害防止事業協同組合事務局の業務